【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2002-233621(P2002-233621A)
【公開日】平成14年8月20日(2002.8.20)
【出願番号】特願2001-329682(P2001-329682)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３１９
　Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成16年4月30日(2004.4.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
　また、弾球遊技機における筐体とは、遊技機の外枠となる枠体、遊技盤を取り付けるための基板であって枠体に組み付けられたフロントパネル（ベースドアということもある）、遊技盤の遊技領域を覆うように配置されフロントパネルに対して開閉可能に取り付けられたガラス扉、遊技盤の下に配置されフロントパネルに対して開閉可能に取り付けられた上皿パネルなどから構成される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
　最近の弾球遊技機には、ガラス扉やフロントパネルにもランプやＬＥＤを設けて光による演出を行うものが多く、ガラス扉やフロントパネルに図柄表示装置を配置することによって筐体の光演出の注目度を上げるという効果も発揮する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
　図６は、本発明のいまひとつの実施形態に係る弾球遊技機の正面図である。図１に示した弾球遊技機１００との違いは、補助図柄表示装置１０７がガラス扉１０５ではなくフロントパネル１０２に設けられている点である。この弾球遊技機１００のフロントパネル１０２には、フロントパネル１０２よりも幅の狭いガラス扉１０５が取り付けられているとともに、枠上部飾りランプと呼ばれる装飾ランプ１０８がガラス扉１０５の上部から右部にかけてガラス扉１０５の周縁を取り囲むように設けられている。その他の構成は図１に示したものと同じであるので省略する。